

# 開院100周年事業支援へ

## 公立阿伎留医療センターを育てる会

### 定期総会を開催

「公立阿伎留医療センターを育てる会」(下村

智会長、橋本健司副会長、大串國廣事務局長、法人・個人会員あわせ約230会員)の「令和5年度定期総会及び講演会」が7月1日、あきる野市引田の公立阿伎留医療センター1講堂で開かれた。

定期総会では、青木勇理事の議事進行で前年度

の事業実施報告と収支決算報告が行われた後、今年度の事業計画案と収支予算案が示され、承認された。2025(令和7)

年に同院は開院100周年、また「公立阿伎留医療センターを育てる会」(以下、育てる会)は設立15周年を迎える。開院100周年事業支援として同事業積立金が予算に計上された。

続く講演会では、昨年4月に阿伎留病院企業団企業長兼公立阿伎留医療

センター院長に就任した根東義明院長が「阿伎留病院企業団の現状と課題解決への道を考える」と題して講演を行った。

公立阿伎留医療センターは、あきる野市、日の出町、檜原村を構成し、市町村とする阿伎留病院企業団が運営する。同企業団は、1923(大正12)年6月に伝染病の予防および治療に関する共同処理を目的として、西秋留村(現あきる野市)、多西村(同)、五日市町

(同)、増戸村(同)、平井村(現日の出町)の1町4か村で「西秋留村外四ヶ町村病院組合」として設立され、1925(大正14)年4月に西秋留村の地に伝染病院を開院。これが公立阿伎留医療センターの前身となった。

育てる会は、「公立阿伎留医療センターを地域住民にとって親しみやすい、かつ信頼される病院に育てる」ことを目的に、2010(平成22)年6月に正式に発足された。この目的に賛同する地域の個人・法人会員で組織されている。